

—わが国唯一の橋の専門新聞—

橋梁新聞

SINCE1973

発行所
橋梁新聞社

郵便振替口座 00150-2-48179
東京都台東区入谷1-6-6
〒110-0013 電話03(3876)1451
FAX03(3876)1458

第1304号

2017年 1月21日
(平成29年) 土曜日

昭和51年5月19日第三種郵便物認可
購読料/年間88,000円・半年46,000円(税別)
発行日 1・11・21日

発行兼編集人 澤田繁男
編集長 根津寿子

www.kyoryoshimbun.co.jp

東大島駅は旧中川に架かる橋の上であり、江東区と江戸川区を跨ぐ。同橋は軌道桁が4径間単純合成箱桁、ホーム桁が4径間単純合成鉄桁。改修は東大島駅の乗降場上屋の外壁、屋根の改修、待合室の4カ所新設、乗組員控室の1カ所新設など。

クイックデッキを採用 2500㎡を都営新宿線東大島駅改修



日経産業の新型システム吊足場クイックデッキが東京都交通局発注の新宿線東大島乗降場上屋改修工事(施工・鉄建・山口JV)に約2500平方メートル採用され、工事が進んでいる。

今回の工事では最大積載量350kg/平方メートルを生かして吊足場上に6段の枠組み足場を組み上げている。2015年11月に着工、17年8月までの工

期。16年3月から吊足場組み立てを開始し、約2カ月で組み立てが完了、従来吊足場の半分程度の工期で組み上げたことになる。

これまでに納入・稼働中の現場は200件以上となり、同社は、昨年5月に東北地方整備局に新技術情報提供システム(TH-150007-A)登録も完了し、今後到来するメンテナンス時代にむけて橋梁などの点検・補修などの公共工事に市場拡大を図るとしている。

つなぐ
13日に開催の建設コンサルタンツ協会関東支部賀詞交歓会での村田支部長のあいさつに感銘を受けた▼「最近の新卒入職(建設コンサル)状況は女性が3割を占める。入職人数が縮小傾向であることも踏まえ、これまでわれわれの仕事が残業前提のものから改革を進める必要がある。女性が活躍出来る職場作りにつなぐ」(J-Constructi

今後を見据え
omによる効率化やIoTでの在宅勤務やワークシェアなど、各社これから考えていかなければ、現状は変わらない▼設計に関する話だが建設業界全体でも同じことが言える▼根本的な部分で変化が求められているのかもわからない。少なくとも同会で現状を根本から変えようとする気運や動きを、ひしひしと感じた。(下)

(29・1・21)